

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月30日(水) 二回戦

Bコート 第1試合 深谷総合体育館(深谷ビッグタートル)

チームA				チームB
県立長崎西	93	11 - 18 26 - 22 29 - 23 27 - 17	80	桜丘
長崎				愛知

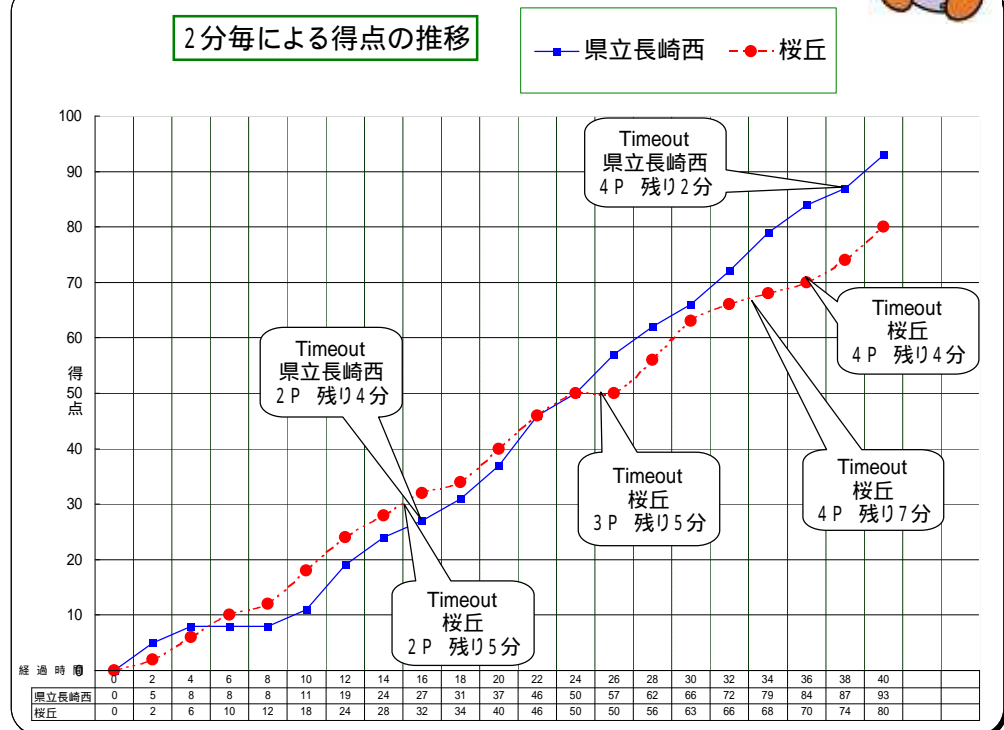
県立長崎西

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	塩田 大祐	X	21	0	0	8	21	5	6	2	3	4	2	3	12	0	40
5	井坂 章吾	X	7	0	0	2	5	3	7	3	3	4	0	2	1	0	25
6	西村 大志	/	0	0	0	0	1	0	0	2	1	1	0	1	1	0	15
7	富永 響	X	26	3	3	8	15	1	2	1	2	3	2	4	2	0	40
8	後藤 正太郎	X	15	0	1	6	7	3	4	3	5	2	2	1	0	1	40
9	陣香 亮太	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	西田 太一	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	浦田 壮一郎	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	長田 聖也	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	田中 大貴	X	24	5	10	4	12	1	2	0	1	5	2	4	4	1	40
14	前田 公平	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	樋口 拓海	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	埴生 浩二	/	/	/	/	/	/	/	/	0	2	2	/	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場	93	8	14	28	61	13	21	11	17	21	8	15	20	2	200		
確率	57.1%	45.9%	61.9%	計	38												

桜丘

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	野崎 亮太	X	10	2	3	1	5	2	2	5	0	4	2	0	4	1	29
5	水越 悠太	X	28	2	5	11	12	0	0	1	0	6	2	1	2	2	39
6	岩附 孝興	X	2	0	1	1	7	0	0	2	2	3	2	0	3	0	33
7	浜野 太暉	/	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	15
8	川熊 史弥	/	2	0	0	1	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	3
9	太田 拓志	/	6	0	0	3	3	0	0	2	0	0	1	1	3	0	15
10	マンタス・P.V	X	22	0	0	10	16	2	2	4	5	5	3	0	1	0	35
11	堀田 渡	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	蔵地 慧	X	10	0	1	4	9	2	3	3	2	2	3	1	2	0	26
13	鈴木 拓	/	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	0	0	0	5
14	橘田 正良	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	中村 浩章	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	江崎 悟	/	/	/	/	/	/	/	/	0	1	5	/	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場	80	4	10	31	55	6	7	21	11	26	17	3	15	3	200		
確率	40.0%	56.4%	85.7%	計	37												

2分毎による得点の推移



戦評

初戦を良い形で勝った長崎西と初出場ながら初戦を突破した桜丘の一戦。
 第1P、両チーム共、ハーフコートマンツーマンでスタート。序盤、長崎西がベースを掴むが、ミドルシュートが決まらない苦しい時間帯が続く。一方、桜丘は合わせのプレイから着実に加点し、桜丘リードで第1Pを終了。
 第2P、長崎西ペースでスタート。#13田中の3Pシュートやスティールからの速攻で加点する。桜丘も合わせのプレイやミドルシュートを決め一進一退の攻防が続く。桜丘3点リードで前半終了。
 第3P、桜丘は#10マンタスを中央にした3-2ゾーンディフェンスでスタート。しかし、長崎西は#13田中の3Pシュートやハーフコートでのトラップディフェンスで、スティールからの速攻を決めリズムに乗った。長崎西が6対63と逆転し第3P終了。
 第4P、桜丘は2-3ゾーンディフェンスに変更するが、長崎西は#13田中の2本連続3Pシュート等で加点し、ゾーンディフェンスを苦しめない。桜丘は足が止まってしまう、オフェンスでもリズムが掴めず、ターンオーバーが目立ってしまう。長崎西はダブルチームから、スティールを連発したり、ルーズボールを頑張り差を広げた。点差が広がったところで長崎西は、#4塩田がゲームをコントロールし、着実に加点していく。桜丘も1-2-1-1ゾーンプレスを敷き、追いつけようとするが差は縮まらず、93対80で長崎西が勝利した。

主審	北澤 秀夫	副審	富島 健司	戦評	佐藤 政徳 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	----------------

3P: スリーポイントシュート、2P: 2ポイントシュート、FT: フリースロー、OF: オフェンス、DF: ディフェンス、TO: ターンオーバー、ST: スティール、AS: アシスト、BS: ブロックショット